

## 受水槽、高置水槽等清掃業務

別紙 8

### 1 業務場所

埼玉県熊谷市板井 1 6 9 6、1 6 5 9－1 及び熊谷市末広 2 丁目 29 番地  
埼玉県立循環器・呼吸器病センター及び医療職員宿舎

### 2 業務対象設備及び清掃回数

#### (1) 受水槽

本館棟水道用	FRP 50 トン	2 基	年 1 回 (センター)
A 病棟水道用	FRP 20 トン	1 基	年 1 回 (センター)
宿舎水道用	鋼板製 20 トン	1 基	年 1 回 (医療職員宿舎江南)
宿舎水道用	鋼板製 10 トン	1 基	年 1 回 (医療職員宿舎熊谷)
新館棟用	鋼板製 50 トン	1 基	年 1 回
調理・洗濯棟水道用	鋼板製 30 トン	1 基	年 1 回 (センター)

#### (2) 高置水槽

本館棟水道用	FRP 15 トン	1 基	年 1 回 (センター)
治療棟水道用	FRP 6 トン	1 基	年 1 回 (センター)
水栓用等	RC 11 トン	1 基	年 1 回 (センター)
A 病棟水道用	FRP 7 トン	1 基	年 1 回 (センター)
宿舎水道用	畜圧式圧力水槽 3 トン	1 基	年 1 回 (医療職員宿舎熊谷)

#### (3) 防火用貯水槽

本館棟等	RC 16～80 トン	全 9 基	年 1 回 (センター)
------	-------------	-------	--------------

なお、年度毎に、持ち回りで 1 基ずつ行う。

### 3 清掃方法

- (1) 作業現場ごとに、作業衣及び作業器具は、清潔な状態で行う。
- (2) 清掃前に、受水槽内の残留塩素を測定する。
- (3) 受水槽及び高置水槽は、槽内の水を排水し、沈殿物及び壁面等の付着物を除去し、槽内全体を水洗いする。
- (4) 受水槽及び高置水槽の亀裂の有無、ポンプ及び止水弁の点検を行う。
- (5) 清掃終了後、次亜塩素酸ソーダ溶液で槽内を消毒し、残水は完全に排水する。
- (6) 受水槽及び高置水槽の水張り終了後、ポンプ等の作動試験を行う。
- (7) 清掃終了後、水栓等により、残留塩素の測定を行い、ビル管理法に基づく水質検査を行う。

### 4 実施計画表及び業務完了報告書の提出

乙は、実施計画表を速やかに提出すること。また、業務完了後は、完了報告書に写真及び必要書類を添えて提出すること。

### 5 負担区分

- (1) 清掃に必要な電力及び用水は甲の負担とする。
- (2) 清掃に必要な用具、薬品及び用紙類等の消耗品は、乙の負担とする。